

学校の在り方地区検討委員会（第3回）

20260422 0930～1140 プラザホテル

- ・むつ市長含め4名欠席
- ・県教委坂上理事あいさつ

（1）単位制、少人数学級、学科、学校配置の方向性について

風間浦村教育長

下北において必要なのは普通科における少人数学級
生徒が減っても教育の質を落とさないことが求められる
普通科の少人数学級は検討しないのか？

県教委

実習などで危険という理由で、専門学科のみ少人数学級とする方針

風間浦村教育長

少人数学級は効果がある、下北には絶対必要だと思っている

県

高校は選択科目だし、単位制を導入することで、それぞれの授業は少人数でできる

佐井村教育長

学びの保証が一番大事、学びたいことが学べる環境
生徒に個別に対応できるような教職員数は確保できているのか？

田名部高校長

現在全15クラス、単位制を導入しているが、そういう環境になっていない
学級数に応じた数の教員しかいないため、多様な学びができる環境にはない、臨時講師は10人以上
(単位制だからといって、1クラス40人→10人×4、20人×2など、個別に向き合える環境にはない)

司会

田名部高へ単位制を導入した当時は、空き教室がなくてできなかった

佐井村教育長

少人数学級、個別最適な学びには、教職員確保、教室確保が大切

佐井村長

普通科への少人数学級導入への課題は？

大間高校長

1 学年 30～40 人で 2 クラス、2 クラス分の教員がいる
数学英語とか 2 クラスに分けられる
ひとりひとりの生徒きめ細かい指導できる

田名部高校長

今年度の倍率 0.95、全入となっている
学年の中で広い学力差
習熟度別も考えたいが、教員数が少ない、教室も限りがある、だからできていない
定時制もあるので、放課後の個別指導もできない

阿部教育長

ビジョンは OK だが、本当にこれができるのかを、具体的に考えるのが我々の仕事
理念はすでに基本方針に書かれている
教員が本当に足りない、教員未配置は解決されていない
ビジョンはいいが、解決策としての教員配置が十分にできていない

すべての教育資源を、すべての県立高校の生徒に開放してほしい
教員配置に関わらず、どの高校にいても履修できるようにしてほしい
遠隔授業の実現に向けたことを前期計画に落としこんでほしい
専門学科の実習について、夏休みなどを利用して、他校でもできるようにしてほしい

(2) 全日制の学校規模学校配置について

司会

具体的な高校名をあげて議論を進めたい

むつ市教育長

「統合校の姿が見えないのに令和 10 年度以降の議論はできない」というのが前回の話だった
令和 9 年度開校の統合校の方向性が見えない以上は、具体的な高校名をあげて議論できないのではないかと
昨年度の検討委の議論の内容は、開設準備室に申し送られたものの、統合校の教育内容はまだ決定していない

県

統合校については、むつ工のなかに、準備室を開設し、これから準備を行う
学びについては大湊高とむつ工の 2 校の現状のものが継続されるので、その前提で議論を

むつ市教育長

前回の会議で、具体的な議論ができなかったという結果、が参考資料 1 のボリュームに表れている
(2 時間以上議論して、下北の内容は P2 はわずか 5 行、P3 については一切ない)
つまりこれらは、前回議論すらできなかったという結果

統合校について、準備室で詳細を決めるのはこれから
統合校がこうなるということ、中3に誰も説明できない、教員も保護者もわからない
子どもたちへの情報提供をしっかりとしてほしい

県

資料の P41、地域校である大間高は、募集が定員に満たなかったため、学級数が1減となる
そのため令和9年度、下北地区の学級数は12から11になる可能性がある
地域校、地域共育校の状況が未定な以上、P41の「期間内増減△1」はむつ市内の田名部か統合校
学級減で対応したいと思っている

大間町長

どうやって教員を増やすかが課題
大間高は、教員が生徒に親身に接することができる、進学率も高い
少人数の高校でも2学級だからできている
これだと（1学級になるのであれば）以前と全く変わっていない、意味がない、納得がいかない

県

現計画（令和9年度までの第2期実施計画）のスキームによる1学級減
次期計画で活性化が図られることを期待している

大間町長

活性化を図るには教員数が必要
そのためには2学級がなくてはならない
1学級になれば、教員数が減り、きめ細かい支援ができなくなり、生徒来なくなり、学校がなくなる

佐井村教育長

現計画（～R9）では、地域校である大間高は、自動的に1学級減
次期計画（R10～）では、地域共育校となり、定数による自動的な学級数減にはならない
ただし、現計画で1クラスになれば、地域共育校になっても募集は1クラスのままになるのでは？

佐井村長

大間高は北通りの子どものための貴重な学校
今は2クラスあるから少人数対応ができている
1クラスになれば、教員数が減るため、その維持ができなくなる
大間町長の懸念は、1クラスになったら魅力がなくなるというもの
風間浦村長も同様の懸念をしている
現状は自動的な削減になる定員に2～3人足りないだけ、それくらいなら2クラス維持を検討し直してほしい

司会

地元の声として伝えてほしい

東通村教育長

「バランスを考慮」とあるが、バランスは地域によって違う
下北にとってのバランスが、他地域と同じでいいのか

風間浦村教育長

1学級になっても少人数対応が必要、そのためには教員数の確保が重要
北通りの地域の声として、大間高の学級数維持、教員数の維持を訴えていきたい

大間中 PTA 会長

大間高は、2学級を維持してほしい

司会

学級数の削減について、高校名をあげて議論してほしい、むつ市内の学校から

むつ市教育長

大間高が令和 10 年度から地域共育校になるのに、1学級となるならこれまでの前提と異なる
地域として看過できない
10年後中3卒業生が50%減る、むつ市内の子どもの数は減るが、北通りはさほど減らない、そこへの配慮も

「学級減」だけではなく、学科の再編も含めて考えないと対応できない

資料の P42 は、はっきり書いていないが「統合校の学級数は維持、田名部高の学級を減らす」と読める
それならそうとこの場で説明してほしい

県

念頭としては、そうなっている（田名部：5学級→4学級へ1減、統合校5学級のまま）

司会

全入になって、田名部も厳しい、4クラスになったらどうなるか？

田名部高校長

上から下までの学力層が広がっているのが現状
難関大を目指す生徒も多い
そこを目指すのであれば、下の層が少なければ、上の層を引き上げられるという効果はある
ただし、1クラス減って、その分教員も減ったら意味がない

（1人の教員が少人数の生徒に、きめ細かい指導をすることが求められているが、学級数減と同時に教員数も減らされたら、今と同じになってしまうので、それができない）

大間町長

県内の地域校4校で学級数維持の要望活動をしてきたのに、効果が見えない

新たに野辺地町も入ってきて5校になる

要望の意味がない、1つでもかなえてほしい、それでも何も変わらないなら要望もやめる

むつ商工会議所監事

未来デザイン科について、産業界、行政との関わりが深い学科だと思っている

連携を密にすることで下北での取り組みが特徴的になればいい

商工会議所、DMOの立場として、地域との関わりを深くしたい

地域が関われる環境にしてほしい

大間高校長

地域に対する愛着が強い生徒多い

Jパワー、役場、大学などから講演も、講座は全校110人のうち毎回20人くらいも出席がある

ボランティア活動として、地域のまつり、小中学校の運動会、フェリーの旗振りなどに参加

教職員も小中学校と連携している

司会

未来デザイン科は大間高校への設置が妥当かと思うが、みなさんどうか？

佐井村教育長

普通科はなくなるのか？

県

普通科を未来デザイン科にすると認識してほしい

普通科は普通教育を主とするもの

国では、新たに普通科を4種に細分化した

未来デザイン科も、普通科とほぼ同じ内容と考えていい

地域との学びについて、各年度で6単位分くらいずつ

佐井村教育長

大間高は進学にも力を入れている

普通科だからこそできる教育は、未来デザイン科と少し違うのでは思い心配している

未来デザイン科で、国公立大に進学できる勉強ができるのか？

毎年6単位は結構なウエイト

進学にも対応できる教員確保も必要

県

進学から就職まで対応は、これまでと変わらない

普通科改革で、進路選択に影響はないと考えている

佐井村教育長

2学級から1学級になって、普通科から未来デザイン科になって、それを少ない教員でやるのは大変なこと

教員を増やす配慮をしてほしい

司会

要望ということで県は検討してほしい

県

令和10年度からの次期計画における地域共育校について、地域協議会を令和8年度につくる
前期実施計画ができた際には、町長が話したようなことも、話し合えればと思っている

むつ市教育長

前回は学級数削減の県教委の方針が示されていない

今回、田名部高を1減にするということだが、その目的、長所は？

これからも絶対に減らすなというのは、今後の生徒数の減少を見れば現実的ではないのは理解している

県

学力差の幅が広がっているため、高みを目指す生徒に特化した教育ができる
一方、4学級になるに伴い教員が減れば、多様な学びに影響が出る

むつ市教育長

大湊高は廃校になる、教員も減るため計画的な人事配置をお願いしたい

兼務発令して、大湊高の教員が減っても、大丈夫なように配慮してほしい

大湊高がなくなったあとも、この地域としての教員の配置を、遠隔授業とあわせをお願いしたい

司会

学級数について、統合校はそのまま、田名部高から減らす、委員のみなさん、これでいいか？

むつ市教育長

学級数が減って、教員数が減らないならば、よいと思う

その回答がないなら、軽々には回答できない

県

補足として、統合校の状況は、現在開設準備室で検討中

中3の進路を決めるうえで非常に重要なのはわかっている

6月末には、中学校へ状況を説明する予定

その時期までに決めれることを決めたい

田名部中学校長

統合校について、子どもたちから問われて何も答えられない（カリキュラムも学校名も）

7月からは保護者を交えた面談をし、進路決定していく

6月だとギリギリになるので早めの情報提供を、今はパンフレットすらない

県

細かいところは鋭意作成中、カリキュラムなどについて今大湊高と調節中、パンフレットは、6月には対応したい（と、むつ工校長から報告を受けている）

大間中 PTA 会長

統合校のことは、保護者にも伝えてほしい

(3) 定時制・通信制の学校配置について

むつ市教育長

異論はないが、定時制は今やセフティーネットではなく、生徒の選択肢となっている
これまでどおりの教育ができるよう、教員の加配をお願いしたい

田名部高校長

定時制の生徒 60 人に対し、教員 8 人、教員も生徒もがんばってやっている
通信制のスクーリングが、遠方に行かずとも地域の協力校でできるようにとあるが、対応する側の高校は現在の教員配置のままに対応するのか、加配があるのか

佐井村教育長

廃校となる大湊高校舎に田名部高の定時制を移すなどの検討も
現場の教員に余裕がなければ、良い教育は生まれない

田名部中校長

定時制昼間部の検討をぜひお願いしたい
夜の交通機関がなく、定時制をあきらめている生徒もいる

教員配置について、人材確保が難しく、未配置の教員もいる、産休 2~3 人の代替もない
高校進学にあたり、中学生の学力が落ちているという指摘があるが、中学校もギリギリでやっている
他の小中でも未配置、どこもギリギリの中で、学力確保に向けがんばっている
少人数学級ができないのは教員足りないから、このことは教育のいろんな面に関わる

統合校の情報に加えて、国のグランドデザインについては、生徒、保護者、地域に伝わるようにお願いしたい

司会

大きな方向性についてはこれでいいか？

(意見なし)

ではこの方向性で進めていく
ただ、いろんな要望があったということをお願いしたい